

2月の野菜の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
キャベツ類	15,072	95	13,918	139	94	114	-	0.0	愛知、千葉、神奈川産中心の入荷で全体の約9割を占める。愛知は生育がやや遅れているものの、肥大は順調で前年並みの入荷となる。千葉、神奈川は低温の影響により肥大が鈍く、8玉中心で小玉傾向となっている。生育回復は今後の天候次第だが、急な回復は期待できない模様。全体の入荷量、価格ともに前年をやや下回る見込み。
はくさい	13,409	95	12,319	74	101	64	-	0.0	茨城、群馬、兵庫産中心で全体の約9割を占める。茨城、群馬は11月下旬以降の低温の影響で肥大が遅れ、小玉傾向となっている。兵庫も平年よりLサイズの比率が高く、小玉傾向となっている。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みの見込み。
だいこん	11,593	98	11,856	120	83	90	-	0.0	神奈川、千葉産中心で全体の約9割を占める。神奈川、千葉ともに11月中旬以降の低温の影響で根部の肥大が遅れており、2Lサイズ以上が少なく、全体的に小振り傾向である。全体の入荷量は前年並み、価格は前年を大幅に下回るものの平年より高くなる見込み。
トマト	4,697	99	4,872	474	76	384	-	0.0	熊本、愛知、栃木産中心の入荷となる。熊本は日照不足の影響で若干小玉傾向となっている。愛知は低温の影響で生育が遅れ気味で推移しており、入荷量は前年をやや下回る。全体の入荷量は前年並み、価格は前年を大幅に下回る見込み。
きゅうり	4,836	98	4,894	435	87	383	-	0.0	宮崎、千葉、高知、群馬産中心の入荷となる。宮崎、高知は低温の影響により果実肥大が遅れている。千葉も11月下旬以降の低温と日照不足の影響により果実肥大が遅れている。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回るものの平年並みとなる見込み。
ねぎ	4,800	98	4,676	279	100	274	26	0.5	千葉、埼玉、茨城、群馬産など関東もの中心の入荷となる。千葉、埼玉ともに11月下旬以降の低温の影響で生育がやや遅れており、細物の比率が高くなる見込み。全体の入荷量、価格ともに前年並みの見込み。
ほうれんそう	1,484	101	1,762	514	88	406	-	0.0	群馬、茨城、埼玉、千葉産など関東もの中心の入荷となる。群馬は低温の影響から露地もの、ハウスものともに生育が遅れており、入荷量は前年をやや下回る。他の関東各県も低温と乾燥のため生育は遅れているもの、生育は回復傾向で前年並みとなる。全体の入荷量は前年並み、価格は前年を大幅に下回るものの平年より高くなる見込み。